

きょうも元気に!

日本共産党 京都市議員

《活動報告News》

河合ようこです。



2月市会をはじめ

2月22日、2月市会が始まりました。今年度の補正予算、2017年度の予算を審議します。

2017年度の予算規模は全会計でノ北6897億円、一般会計7669億円となっています。「暮らしに安心、未来に責任」「文化力」等を市は打ち出しています。予算案全体をみると、市民のくらしに直接関わる事業の縮少・廃止・値上げ、市職員196人の削減など自治体としての役割の放棄、市民サービスの後退となる内容が多く含まれます。

市バス内の表示が改善されました。

聴覚障害のある方等が市バス内で筆談ができるように、運転士の座席の後ろに筆談具が



1 表示位置

筆談具案内表示の変更について

変更後
ゆめた (変更後は取り外す)

2 表示内容
[現行] 縦 24mm × 横 150mm

筆談具あります

[変更案] 縦 30mm × 横 180mm

筆談具あります

※白地、黒文字、枠なし

昨年年度の交通水道消防委員会でも求めてきました。交通局が関係団体の方の意見もきき、表示シールの文字の拡大と表示の位置の改善を行いました。少し見やすくなったと思います。

議会での質問が実現しました。

用意されています。その案内表示が見えにくいので、もっと見やすく改善するよう、私は

「子ども若者はぐくみ局」を設置が本当に子どもの権利と健やかな成長を保障するものになるのか。保健センターの衛生部門を市内一か所に集約して公衆衛生などの後退はないか、しっかり議論して行きます。子どもの貧困の実態調査が行われましたが、「子ども食堂など居場所づくりの取組への初期費用の補助、学習支援などの施策が提案されているものの、具体的な改善目標や十分な予算の確保がなされていません。子どもの医療費の助成拡充や中学校給食(金助)の実施、市独

自の給付制奨学金制度の創設など、市民の要求に応えた施策の実施を迫っていきます。
リニア新幹線や北陸新幹線誘致事業、京都駅周辺の開発など大型開発、ホテル建設など不要不急の事業のムダづかいもチェックし、市民のくらし、中小企業を支援し守る予算となるよう議論を尽くしていきます。
ご意見、ご要望お寄せ下さい。

◎2月28日(火)の本会議代表質問には、日本共産党市会議員団から井坂博文氏、くらた共子(京京)、山本陽子(山科)の各議員が質問に立ちます。ぜひ、ご視聴下さい。(KBSテレビ、インターネット生放送あり。本会議場での直接傍聴もできます)

みなさんの声で実現。

千代原口バス停に2つベンチ



(2月22日)
桂・桂徳後援会の方が、交通局にくり返し要望された2つめのベンチが設置されました。引き続き、上屋設置を求めています。

洛西ニュータウンの活性化 交通問題抜きには話せない

洛西ニュータウンのアクションプログラム(案)が作られ、市会まちづくり委員会(2月9日)で報告・議論されました。党委員は、まちづくりは住民意見を汲み上げ反映したものにすべきと求め、「進めるにあたって、今後も住民意見をきく旨の答弁がありました。また、洛西まちづくりビジョンから10年間の総括を深める必要性も話し、サテライトが住民のくらしを支える重要なところであることや大型店出店の影響、サブセンターの賃料を下げる等の対応を望みました。洛西ニュータウンアクションプログラムに交通の利便性の向上が重要な課題であることは、わが党委員だけでなく他会派の委員からも語られました。市内中心部へ結ぶ鉄軌道とニュータウン内の移動を保障するコミュニティバス(巡回バス)、大枝・桂坂・大原野などを結ぶ路線が求められます。声をあげていきます。